

## 中級 UNIT2 第二文型

### 5つの文型 S + V + C

今回は5つある文型のうちの2つ目です。今回はS + Vについてのテキストでしたね。読む前に下記を確認してください。

S subject 主語

V verb 動詞

C complement 補語

O object 目的語

M modifier 修飾語

これからは主語をS、動詞をV、補語をC、目的語をO、修飾語をMと書きます。それぞれ英語に直したときの頭文字からきています。覚える必要はありませんが由来を知っておくのはいいでしょう。

### 第2文型 S + V + C

「主語＋述語＋補語」の文型です。

第2文型は、主語、動詞、補語からなる文です。どのようなものがあるかというと

He is a teacher. 彼は先生です。

S V C

第2文型の補語は、主語を説明している名詞や形容詞のことです。

つまり S = Cとなれば第2文型ということです。

第1文型で Mom is at kitchen.は第1文型であると説明しましたね。

しかし同じ Be 動詞を使った文章でも、今回の He is a teacher.は第2文型となります。

これは、S = Cかどうかをみてみれば一目瞭然です。

- ・ Mom is at kitchen.の場合、Mom = kitchen ではありませんね。
- ・ He is a teacher.の場合は、He = a teacher ですね。

Mom is at kitchen.での「Mom is」は、「母はいます」と訳しましたが、He is a teacher.の「He is」は、「彼は～です」と訳さなければなりません。

「彼は～です」では文章として成り立ちませんよね。

なので、「～」に入る「a teacher」という補語が必要になってくるのです。

He is Tom.が何文型かわかるはずですが。

ここでの「He is」は「彼は～です」と訳しますね。それだけでは文章は成り立ちませんよね。ですので、「Tom」という補語を「～」に入れる必要があります。

よって He is Tom.は第2文型です。

第2文型の形をとる文、動詞はさほど多くはありません。いくつかご紹介しましょう。

状態を表すもの

be 動詞(上の例文の参照)、keep(ずっと～である)、remain(～のままである)

Students kept quiet during the classroom. 生徒たちはクラスルームの間ずっと静かだった。

必ずしも「Students=quiet.」ではありませんが「生徒たちの状態=静か」という解釈ができますね。

変化を表すもの

become(～になる)、get(～になる)、grow(成長する)、turn(～に変わる)

He became a teacher. 彼は先生になった。

「He=a teacher」となりますね。

1つ注意しなければならないのは「get」という動詞です。

この get はたくさんの意味を持っていますので、get が出てきたら第2文型とは先走らずに、きちんと文章を確認するようにしましょう。

第2文型になる get は、「get+形容詞」の場合です。

～のようだ、～に見える

look(～に見える)、seem(～のようだ)

She looks happy 彼女は幸せそうだ。

「She=happy」となりますね。

感覚を表すもの

feel(感じる)、smell(匂いがする)

I feel sick today. 今日は調子がよくない。

「I=sick」となりますね。